

外部卓話 鹿児島の未来のために（少子化対策として）

—生殖専門医の役割・プレコンセプションケアについて—

竹内レディースクリニック 竹内一浩様

当院は以前から鹿児島の妊娠、分娩、不妊治療に携わり、30年以上の不妊治療の実績がある。さらに20年以上にわたりメディアなどを通じて妊活についての啓蒙とケアを続けている。

女性の社会進出が進み、晩婚化により妊活の開始年齢が遅くなっている。先進国では世界的にも初産年齢が上昇している。子供を産むかどうか、いつ産むかについての意思決定（Reproductive autonomy）は尊重されるべきだが、男女ともに年齢が上がるほど妊娠しにくくなる。特に女性はその傾向が顕著で、これは卵子の数の低下と老化（質の低下）が原因と言われている。女性の卵子の数（在庫）は、生まれた時が一番多く、加齢とともに減っていき数が回復することはない。若くても卵子の在庫が減ってしまっている場合、妊娠可能な期間はもっと短くなる。この卵子の在庫についての指標としてAMH（抗ミュラー管ホルモン）があり、血液検査で簡単に卵子の在庫を知ることができる（若くても卵巣年齢が高い人がいる）。

子宮内膜症や子宮筋腫などの子宮・卵巣の疾患がある場合も妊娠しにくくなるため、月経痛、月経不順などがある場合は産婦人科を早めに受診することが重要である。

加齢による妊娠性低下に対して、若く卵子の在庫が多いうちに卵子を凍結保存するという方法もあり、当院では約20年にわたってこの治療を提供してきている。

また男性も精子数の減少や性機能の低下（性交障害など）が問題視されている。

若い世代の栄養の偏りや性感染症（クラミジア、梅毒など）も増えており、これらも不妊の原因となっている。

若い世代が若いうちに、自分の健康状態、生殖能力（卵子の在庫や精子の状態）などを把握し、未来に向けて準備をする、という意識が大切であり、これをプレコンセプションケアという。自分はこれまでの生殖医療に携わってきた経験を活かし、正しい知識を若い世代へ啓蒙するという役割があると考えている。



竹内先生と柳元会長

Annotation

入りて学び、出でて奉仕せよ 1947-48年度 S・ケンドリック・ガーンジー国際ロータリー会長による言葉（ロータリーの友 2022年1月号掲載）

ポリオプラス ポリオを根絶するために「最優先順位活動」として推進されているRIおよびロータリー財団のプログラムです。“プラス”とはポリオ以外にも、はしか、ジフテリア、破傷風、百日ぜき、結核の五つの病気を含めた予防接種の実施を盛り込んだことに由来しますが、現在、“プラス”的な意味は当初とは異なり、世界的なポリオ根絶運動がもたらした遺産のことを指します。（ロータリーの友 2022年2月号掲載）

●出席率80%を目指しましょう！

第3097回例会 出席報告		
会員数	出席数	出席率
33(31)名	23名	74.19%

●今後の予定

5/22(水)	夜間例会
5/29(水)	第7回クラブ協議会（地区研修協議会報告）
6/5(水)	クラブフォーラム

市内ロータリークラブのプログラム 記帳メークアップ★11：30～12：30 ★17：30～18：30

R C	例会日	プロ グ ラ ム	例会場	R C	例会日	プロ グ ラ ム	例会場
東	5/16(木)	外部卓話「ロータリーにおけるメンタルヘルス」秋山幸子様	ホテルサンディーズ鹿児島	令和	5/20(月)	例会なし	ホテルレクストン鹿児島
北		クラブ協議会	アートホテル	東南	5/21(火)	★5/19地区協議会へ振替	サンロイヤル
サザン	5/17(金)	★クラブ協議会 会場：愛の聖母園	ホテルレクストン鹿児島	城西		地区研修協議会報告・会員卓話	ホテルサンディーズ鹿児島
鹿児島		新旧委員会引継ぎ	山形屋	西	5/22(水)	会員卓話	山形屋
アカデミー		クラブ協議会	鹿児島大学	西南		地区研修協議会報告	ビエント
中央	5/20(月)	クラブ協議会	山形屋				